

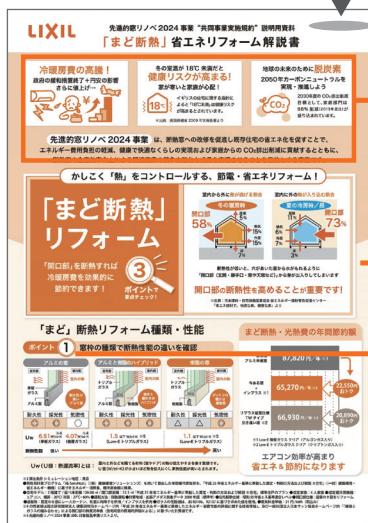
「まど断熱」省エネリフォーム解説書 ご説明の手引き

補助金リフォーム担当のみなさまへ

住まいの性能向上を図る「補助金リフォーム」をご契約いただいたお客様に、施工後どれだけ省エネができるかの情報を説明し、ご理解いただくことが必要事項となっております。
わかりやすい説明をするためにこの手引きを必ずお読みになり、ご活用ください。

※解説書は「普通（全国）版」「北海道・北東北版」の2種類あります。該当地域を確認してご利用ください。

【表面・右上に地域表示があります】



住宅の省エネ化・断熱性能向上の重要性をご説明しましょう

現在の住環境をとりまく問題への対策として、国が省エネリフォームを推進する上での補助金制度であることをお伝えしましょう。

なぜ窓のリフォームが必要なのかをご説明しましょう

一般的な住まいの開口部から多くの熱が入り出している事実をご説明しましょう。

窓のリフォーム改修による断熱性能の向上についてご説明しましょう

(3つのポイント) を順に追っていくことで裏面の早見表の理解が深まります。

ポイント1 では窓枠の種類で変わる断熱性能を熱還流率の数値で確認します。熱還流率数値は低いほど断熱性能が高く、省エネ効果が高いことをご説明しましょう。

単板ガラスよりもトリプルガラスの方が性能が高く、窓枠がアルミ製より樹脂製のほうが性能が高く、ハイブリッド製は耐久性能・断熱性能にも優れていることなどをご説明しましょう。

ポイント2 では窓の工事方法の違いと熱還流率についてご説明しましょう。

ポイント3 ではガラス性能と中空層のガスの違いで変わる断熱性能を確認します。複層ガラスの特性と中空層に封入されているガスについてご説明しましょう。

「高断熱型」

日射熱を取り込むガラスなので、冬にあたたかい日差しを活用したい場所「南側のリビングの窓など」におすすめです。

「遮熱高断熱型」

日射熱を遮るガラスなので、夏に長時間日が当たる場所「西側の寝室の窓」におすすめです。

「アルゴンガス (Ar)」

空気より熱伝導率が低いガスです
電球や蛍光灯などに封入されています。

「クリプトンガス (Kr)」

非常に熱伝導率が低い希少ガスです
(空気中成分の 100 万分の 1)

リフォーム実施後の改修効果を説明しましょう

表中の「改修後の窓」で工事方法・窓製品名・ガラス性能とガスを明示しながら性能向上数値をご確認いただきましょう。

【裏面・改修効果表部分に地域表示があります】



さらに省エネ効果を高めるために

地域の環境や季節などにあわせて、さまざまな対策を組み合わせることでよりエコで快適な暮らししが可能です。
開口部まわりから住まい全体を快適にしていくリフォームがまだあることを紹介し、性能改善を提案しましょう。

省エネリフォームをきっかけに、断熱の知識を生かしてエコで快適な暮らしをご提案ていきましょう

おすすめ動画のご案内

お客様への提案や社員教育に最適です！

断熱リフォームちゃんねる 断熱リフォーム基本編

YouTubeで
配信中▶



毎月
第2・第4 金曜日
17時から配信
番組視聴はこちらから

快適な住環境を実現する
断熱リフォームに関する
情報をお届けします！



熱の出入りが多い住宅の開口部や壁・床・天井の断熱性能を高めることで、快適な住まいを実現できる断熱リフォームに関するさまざまな情報を配信し、断熱リフォームの知識向上、推進につなげる番組です。